

合言葉は「明るく楽しく」

～第26期通常総会を開催～



選任された役員たち、左から伊藤有為子、荒牧敦子、荻野恵子、谷内喜美子、山下幾雄、林晃平、居谷知範、津中順子、渡辺圭子

5月25日、京丹波町商工会瑞穂支所において第26期通常総会を開きました。正会員61人のうち委任状・書面表決を合わせて52人が参加全議案を原案通り可決承認しました。

総会では、来賓の畠中源一町長から『自治体消滅』がささやかれたりしているが、京丹波町は緑あふれる素晴らしい町です。力を合わせて元気に頑張りましょう」とエールがあり、山下理事長は、中学生だったころには当地も人波で「ごった返し」していたと懐かしみながら、「どんな時代がやって来ても着実に一年一年を積み重ねていこう」と呼びかけました。

会場からは、能登の被災地ボランティアに参加した出席者が、「気軽にヒョイと思立って」出かけたと語ったり、デイサービスの職員が、介護「しているのか・されているのか」分からないような職場で、自分も「癒されている」と述べたりしました。また、前日のヘルパー活動が予定を大幅に超過して「一日がかり」になってしまった職員は、助けを必要としている人を目の前にしたら「放っておけなくなるのだ」とその心情を語りました。



閉会にあたり役員9人(理事7人・監事2人)が挨拶に立ち、それぞれ思いを述べました。

出席者の発言や役員挨拶から、新年度も「明るく楽しく」やっていこうという意気込みが浮かび上がってきた総会でした。

2023年度決算の概要 (単位:円)

経常収益		
会費	444,000	
寄付金	475,000	
助成金・補助金	2,974,327	
事業収益	82,522,679	
その他収益	94,485	
計	86,510,491	
経常費用		
事業費	人件費	65,138,119
	その他経費	12,671,129
管理費	人件費	5,195,637
	その他経費	2,036,726
計	85,041,611	
差引(税引き前)		1,468,880

※4面に続く

NPO法人クローバー・サービス

京都府船井郡京丹波町橋爪楡山 53
■TEL (0771)88-5014 / ■FAX (0771)88-5017
■e-mail: info@cloverservice.or.jp
■ホームページ http://www.cloverservice.or.jp

クローバー・デイサービスセンター

京都府船井郡京丹波町橋爪楡山 41-1
■TEL & FAX (0771)88-0138
■e-mail: day@cloverservice.or.jp



facebook QR

映画・本・歴史のこと



〈第16回〉『戦雲』と『沖縄決戦』

有田誠(ありたまこと)京丹波町在住の映画愛好家。
写真は、山城博治さん(2016年辺野古にて筆者撮影)



三上智恵(1964~)

「戦雲」(二〇二四)

三上智恵監督の新作『戦雲』が公開中である。『標的の村』(二〇二二)、『戦場ぬしみ』(二〇二五)、『標的の村風かたか』(二〇二七)、『沖縄スパイ戦史』(二〇一八)につ

米軍基地を増やせないとなると、まず自衛隊基地をつくり、そこに共同作戦として米軍をどんどん入れる算段だろう。いづれも台湾有事を想定、米軍のEABO(遠征前進基地作戦)に基づき、小規模部隊が島から島へ逃げながら戦うらしい。初動段階で米海兵隊は、琉球弧の約四十の島々に臨時攻撃用拠点を置くという。

いざとなれば、先島(宮古・八重山)諸島の住民や観光客は九州や山口県に避難するらしい。先島以外の島や鹿児島県の島は避難対象となっていない。以下、映画で紹介される各島の状況をまとめてみる。

〈沖縄本島〉

うるま市勝連分屯地は、島々に配備されたミサイルの統括本部として二四年から運用が始まる。三月、第七地対艦ミサイル連隊の発足式。射程千キロの中国領土へ攻撃可能な向上型を二五年に配備する計画。

〈与那国島〉

台湾の花蓮、宜蘭へ二〇キロ少し、日本最西端の島。十六年三月、陸上自衛隊の沿岸警備隊が常

駐開始。二二年十一月、戦車が進び込まれた。昨年四月、町ホームページに突然「島外避難実施要領」が掲載された。五月には地対空ミサイル部隊増設の住民説明会が開かれ、当然紛糾した。

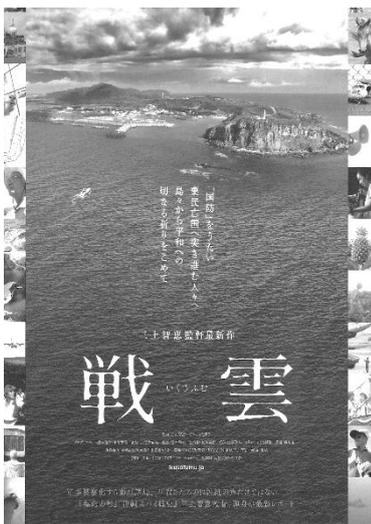
〈石垣島〉

於茂登、嵩田、開南、川原の四集落がミサイル基地計画に反対、住民投票を求め十九年、一万四千筆を集める。市議会はそれを否決、さらに自治基本条例から住民投票条文を削除した。同年駐屯地建設開始、二三年

三月より常駐、即ミサイルが進び込まれた。十月にはオスプレイが飛来。九月、佐世保米軍基地から掃海艦、今年四月には横須賀から駆逐艦が入港した。

〈宮古島〉

十九年陸自駐屯開始、野原地区は基地に囲まれてしまふ。二三年七月、保良訓練所に長さ三百以上の射撃訓練所が完成した。ミサイルの搬入は二一年十一月。



映画『戦雲』のチラシ

映画は石垣の山里節子さんの唄う「トゥバラマ」から始まる。山里さんはナレーションも担当している。与那国のカジキ漁で大ケガをした川田の

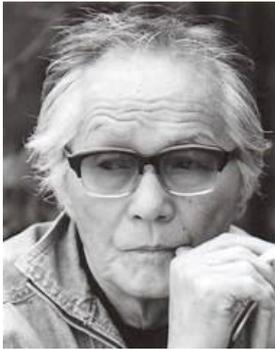


辺野古の島袋文子おばあ
(2016年筆者撮影)

おじい、畜産農家の小嶺博泉さん、宮古で娘の明香里さんと反対運動をつづける楚南有香子さんら、島々の住人たちの日常が描かれていく。ラストには、辺野古の島袋文子おばあが石垣で山里さんに出会うシーンも出てくる。

東映やくざ映画の沖縄

映画で沖縄を描いているのは、東映のやくざ映画が一番多いと思う。『網走番外地・南国の対決』(一九六六石井輝男監督)『日本女侠伝・激斗ひめゆり岬』(一九



岡本喜八(1924~2005)

七一小沢茂弘)『沖縄やくざ戦争』(一九七六中島貞夫)『沖縄十年戦争』(一九七八松尾昭典)などがある。とりわけ傑作は『博徒外人部隊』(一九七二深作欣二)だろう。東京で喰い詰めたやくざたち(鶴田浩二、安藤昇、渡瀬恒彦ら)が、沖縄で地元やくざを制圧していく。しかし、東京の彼らを叩きつぶした大組織が、復帰後の利権を求めてやってくる。彼等全員を外人と名付けたタイトルも凄い。

沖繩と日本の関係がそのままやくざ映画の形になっている。『沖繩決戦』(一九七二)独立愚連隊シリーズ(一九五九~六〇)や『日本のいちばん長い日』(一九六七)など戦争と日本人を描きつづけた岡本喜八の作品。

庵野秀明は百回以上見たらしい。彼のアニメーションに最も影響を与えたのが岡本喜八のカット割りと編集テクニクという。庵野監督の『シン・ゴジラ』(二〇一六)で行方不明の生物学者牧悟郎のヨットに残された顔写真は岡本喜八である。

『沖繩決戦』には、三回エキストラで出演した。当時、代々木に胡散臭い芸能プロダクションがあった。エキストラの斡旋もしていて、ギャラの大半をピンハネしていた。こちらは、岡本喜八の演出現場を見たい一心で、話がある度に東宝撮影

所に出かけて行った。最初はロケバスで三月の寒い御殿場まで行った。まだ冬みたいな場所で、六月の沖縄戦の撮影である。爆殺された島民の死体役だった。岡本監督自らが、腹に豚肉をのせて血糊を大量に塗ってくれた。そこを八原高級参謀(仲代達也)が視察に回るといふシーン。二回目は東宝の大ステージのガマ(洞窟)のセット。ひめゆり部隊の酒井和歌子に傷の手当てをしてもらった。三回目が第三十二軍司令部の壕で牛島中将(小林桂樹)、長参謀長(丹波哲郎)小禄

である。しかし、その作風は明るく軽妙なテンポで、ユーモアたっぷりのものであった。戦争を徹底して憎んでも、招集された兵士をひどく描くことはなかった。それが『沖繩決戦』でも酷評された。沖縄島民を殺害した日本兵を彼はどうしても描けなかった。『独立愚連隊西へ』(一九六〇)のフランクキー堺(台詞は全て中国語)演じる八路军の隊長と加山雄三少佐の部隊が、互いに空に向けて銃を撃ち、殺し合いを避けるシーンが大好きだ。

ニッポンとは何かを、戦争映画の形で表現した岡本監督は、『呐喊』(一九七五)『ジャズ大名』(一九八六)などでその根を探るため、明治から幕末へとたどっていった。著書多数。

【報告】2024年度〈第26期〉通常総会

▶2023年度事業報告

新型コロナも一定の落ち着きをみせた一年であったが、介護現場では以前と同じ対応をせざるを得ず、そんな中で職員の確保に苦慮しながら、地域のニーズに最大限応えるため活動を続けている。

▶利用実績は横ばい

助け合い事業は、介護保険超過分の振替利用が大幅に減少し全体の回数、時間数が半減した。

介護保険・障害者居宅介護・通所介護の利用人数は前年並みで、大きな変化はなく横ばいの状態が続いている。外出支援は11月から相乗り利用が可能になり、時間・送迎場所が重なった際など効率の良い運行をすることができた。

▶業務継続計画を策定

感染症・非常災害発生時の行動指針となる「業務継続計画」(BCP)の策定を年度内に完了した。

▶被災地へ30万円とボランティア

1月に発生した能登半島地震に日本財団の被災地基金を通じて30万円の寄付を行い、3月には石川県七尾市へ職員2名をボランティア活動に派遣した。

▶支え手の確保が必要

人員不足が続く中、京丹波町主催の「介護入門的研修」で事業者紹介を行い、ハローワークへの求人登録も行ったが成果は出なかった。

人員配置については4月にケアマネジャーの管理者交代、新年度よりヘルパー部門も管理者の交代が決定し、次世代へ継承を進めている。

▶2024年度の計画

超高齢化と労働人口不足が懸念される「2025年問題」が現実として到来しているが、現行の事業を着実に実施するとともに、必要な人員の確保、育成を進めていく。また国の処遇改善策を活用し、職員の待遇改善に務める。

＜クローバー・サービス理事・監事＞ (五十音順)

	氏名	主な経歴等	新任・再任の別
理事 (7名)	いたに ともり 居谷 知範	京丹波町議会議員	新任
	おぎの けいこ 荻野 恵子	NPO 法人クローバー・サービス理事/職員	再任
	たにうち きみこ 谷内 喜美子	京丹波町障害児者を守る会会長	新任
	つなか よりこ 津中 順子	NPO 法人クローバー・サービス理事/職員	再任
	はやし こうへい 林 晃平	NPO 法人クローバー・サービス理事/事務局長	再任
	やました いくお 山下 幾雄	NPO 法人クローバー・サービス理事長	再任
	わたなべ けいこ 渡辺 圭子	NPO 法人クローバー・サービス職員	再任(元)
監事 (2名)	あらまき あつこ 荒牧 敦子	NPO 法人クローバー・サービス理事	新任
	いとう ういこ 伊藤 有為子	NPO 法人クローバー・サービス監事	再任

＜賛助会員＞

(有)あさひ堂
(株)一谷住宅
イン・ザ・ルーム亀岡店
上段税理士事務所
(株)高木設備
たにやま鍼灸整骨院
田端輪業
(有)土佐寿司
(有)永田損害保険事務所
(有)西村テレビ
三木歯科医院
みづほ電工
理容ちどり

(五十音順)